

INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel. 03(3349)8088 (広報直通)

2018年4月13日

人生100年時代に、多様×普通の住まいづくり。

CENTURY *Primore 3*

センチュリー プリモア



商品外観イメージ

- 木質系工業化住宅の最上位「CENTURY」ブランド、創立50周年記念商品第2弾
- センチュリーモノコックの採用でZEHに対応した都市型3階建て商品
- 都市部の厳しい制限や限られた敷地でも多彩な空間構成によって豊かな暮らしを実現
- 多様なニーズに応える新しいインテリアスタイルと造作システムを提案

ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 磯貝匡志）は、木質系工業化住宅の最上位ブランド「CENTURY（センチュリー）」に、120mm厚の木質パネルによる「センチュリーモノコック」構法^{※1}を採用した都市型3階建て商品「CENTURY Primore 3（センチュリープリモアスリー）」をラインアップに加え、4月28日（土）に全国（北海道・沖縄を除く）で発売します。

近年、医療機関や商業施設、住居といった、生活に必要な機能を街の中心部に集めるコンパクトシティ構想や、共働き世帯の増加による住まいの都心回帰といったトレンドから、都市部での住宅ニーズが増加傾向にあります。一方、都市部で住宅を建築する場合、敷地や居住空間を有効活用するため、さまざまな建築上の制限に対応した設計上の工夫が必要です。さらに近年では、ZEH基準を満たす創エネ・断熱性能の確保といったニーズへの対応も求められています。

ミサワホームではライフスタイルや価値観の多様化にこたえとともに、ZEHへ対応し、制限の多い都市部でも安心して快適な住まいを実現する「まちなかソリューション」のひとつとして、都市型3階建て住宅を開発しました。

■都市部でのZEH対応

「センチュリーモノコック」は、最大5.4m幅の大開口や高天井を実現しながらも、住宅の断熱性能を表すU_A値^{※2}は4地域以南のZEH断熱基準を大きく上回る0.5以下を容易に達成可能な構法です。通常、断熱性能を高めるためには、断熱材の厚みに応じて壁が厚くなり、有効居住面積の確保に不利ですが、センチュリーモノコックでは、木質パネル接着工法の優れた断熱性や気密性により、120mmのコンパクトな壁厚で高断熱を実現します。さらに快適な居住空間を実現するため、4地域以南で当社初となる発泡系の床断熱材や従来品に比べさらに断熱性の高い玄関ドアもご用意しました。

また、都市部においてZEHを達成するために、高度斜線や日影規制に対応する急勾配屋根と太陽光発電パネルをより多く搭載できる緩勾配屋根を混用する「異種勾配屋根」を新規開発しました。

■限られた敷地の中で実現する豊かな空間構成

ミサワホームの木質パネル接着工法は、外圧を建物全体で分散して受け止める高強度のモノコック構造のため、大収納空間「蔵」や大開口・高天井、スキップフロアなどの多彩な空間が実現できます。斜線制限に対応する急勾配屋根の直下も、高天井の広々とした空間に活用でき、快適な居住スペースを確保することが可能です。また、1階床の一部をスキップダウンさせる提案を盛り込むことで、空間バリエーションをさらに広げました。

■多彩なデザイン提案

ミサワホームでは、暮らしに対する多様なニーズに対応するため、ライフスタイルを6つにカテゴライズしたミサワインテリアスタイルを提案しています。「CENTURY Primore 3」では、このスタイルに沿って新たに開発した内部造作システムや新色の床材などを採用。内部建具のデザインや内装材のバリエーションも追加し、インテリアスタイルの再現性をさらに高めています。外観デザインについては、建物の水平ラインを整え、サッシやバルコニーなどの部品に落ち着きと統一感を持たせる目板や庇、外装材などのオリジナルアイテムによって、重厚感のある美しいファサードを形成しています。

ミサワホームは「CENTURY Primore3」を住まいの快適性とデザインを両立させた都市型ZEHと位置づけ、100年先も住み継がれる住まいとして提案していく考えです。

※1：ミサワホームのオリジナル工法の「木質パネル接着工法」において、120mm厚の木質パネルを採用し、接合部を強化した「高耐力仕様」を標準採用した構法。2017年度グッドデザイン賞を受賞。

※2：住宅の断熱性能を表す「外皮熱還流率」のこと。

■商品特徴

・異種勾配屋根

1棟の建物で急勾配と緩勾配の異なる傾斜の屋根を組み合わせる「異種勾配屋根」を開発しました。これにより、主に北面で斜線制限や日影規制に対応しながら、南面は緩やかな傾斜とすることができるため、太陽光発電パネルの搭載に効果的な屋根面積を大きく確保でき、ZEHに対応しやすくなりました。

また、強固なモノコック構造のため、急勾配屋根の直下の空間も小屋組や陸梁を入れることなく、広々とした居住空間として確保できます。吹き抜けや小屋「蔵」など、多彩な空間活用が可能な点が魅力です。



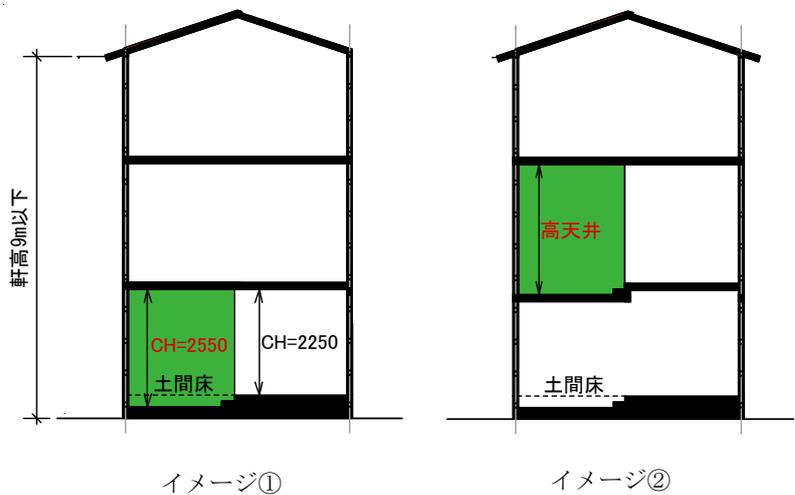
・1階床スキップダウン設計

基礎断熱と防蟻対策を施し、床下部の点検がしやすくなるフリーアクセスフロアを採用することで、新たに1階床のスキップダウン設計が可能になりました。これにより、天井高が約300mmアップします（イメージ①）。また、1階をスキップダウンした分、各階の階高を調整できるため、建物全体の空間構成にさらにバリエーションがうまれました（イメージ②）。

都心部では採光を確保するため2階以上にリビングなど家族が集まる空間を設けることが多くなりますが、スキップダウンを活用することで、さらに使い勝手がよく、変化のある豊かな空間が確保できます。



スキップダウン設計を施した書斎



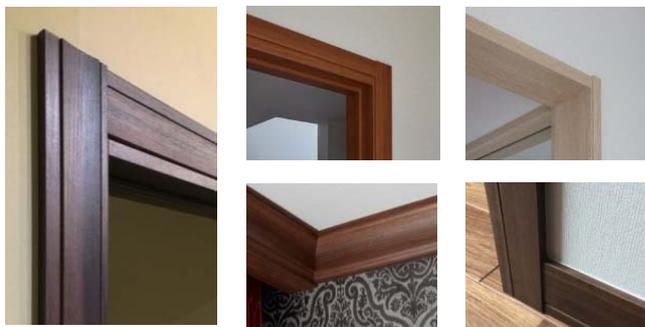
・新しい「MISAWA Interior Style」と新造作システム

ミサワホームでは、多様化するニーズに対応するため、6 カテゴリー14 スタイルの多彩なインテリアスタイルを「MISAWA Interior Style」として展開し、造作システムも一新しました。

【インテリアスタイル紹介サイト】 <http://www.misawa.co.jp/kodate/interior/interior/>



「CENTURY primore3」では、富裕層を意識した「ALL LUXURY」と「With Elegance」スタイルとして、上品さや優雅さをイメージした、なめらかな曲線の廻縁やケーシングを採用しました。その他のスタイルにおいても内部建具やドア金物のバリエーションも充実させ、お客様のこだわりのインテリアを実現します。



新造作システム（ケーシング）



主寝室（親世帯）



リビング（親世帯）

内観写真（鶴見展示場モデル）
インテリアスタイル「ALL LUXURY」

・新規アイテムの採用で統一感と重厚感のある美しいファサード

都市型住宅のファサードは、サイズや素材の異なる窓やバルコニー、玄関ドアなど雑然となりがちです。新規開発した目板は、サッシやバルコニーに沿って配置することで、統一感が出て、それらがまとまったひとつの要素として感じられるため、外観に落ち着きがうまれます。また、従来品に比べ厚みを増した庇や、上質感あふれる外装材などのオリジナルアイテムを採用することで、間口の狭い都市型住宅においても重厚感のある美しいファサードを形成できます。



外観イメージ



統一感をもたらす目板



重厚感のある庇

■商品概要

商品名：CENTURY Primore3（センチュリー プリモアスリー）

構造・工法：センチュリーモノコック・木質パネル接着工法

設計：システムフリー設計

販売エリア：全国（北海道・沖縄県を除く）

発売日：2018年4月28日（土）

販売目標：センチュリーモノコック全体で1,000棟（2019年度）

商品サイト：http://www.misawa.co.jp/kodate/syuhin/century_primore3/

「センチュリーモノコック」紹介サイト：http://www.misawa.co.jp/century_monocoque/

以上

この件に関するお問い合わせ先

ミサワホーム(株) 経営企画部コーポレートコミュニケーション課

奥本博之 佐野遥香

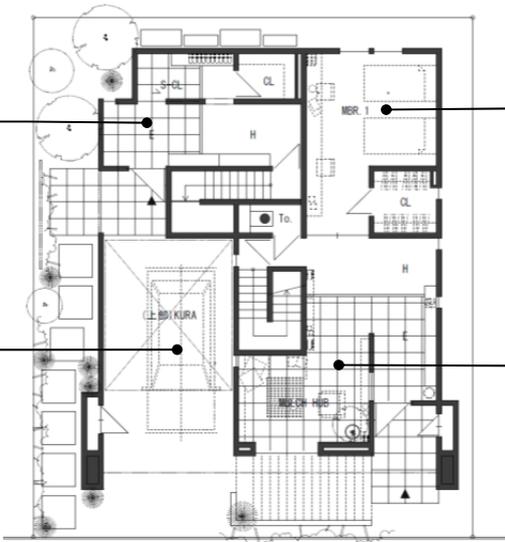
TEL：03-3349-8088／FAX：03-5381-7838

E-mail：Haruka_Sano@home.misawa.co.jp

参考資料：二世帯モデルプラン「77-3RS」

【玄関】(子世帯)
 シュークロークと納戸を連続させた玄関です。外出時に使用するアイテムや趣味用品も余裕を持ってしまえます。

【KURA】(子世帯)
 カーポート上の空間を無駄なく利用した大容量の集中収納です。思い出の品や季節行事の道具をしまっただけでなく、万が一の災害に備えた備蓄庫としても活用できます。

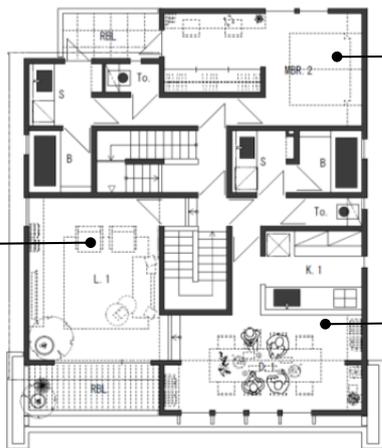


【主寝室】(親世帯)
 リビング空間と距離を離し、独立性を高くすることで生活時間の違いによる影響を受けづらい配置です。将来、高齢になった際にも多様なニーズに対応できます。

【マルチハブ】(親世帯)
 玄関と連続し、近隣に開放できる外に開かれたスペースです。仲間や近所の知人を招き、疎遠になりがちな都市部の集いの場としたり、ペットや趣味部屋など、多用途に使えます。

1F PLAN

【リビング】(親世帯)
 都市部の斜線制限に対応しつつ天井高最大4mの勾配天井を設けたリビングです。大開口や高窓で日差しを取り入れることで開放感のあり、居心地良く暮らせます。

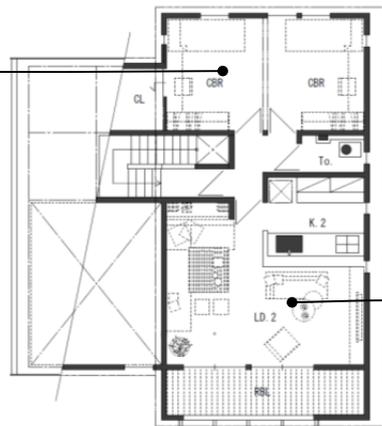


【主寝室】(子世帯)
 夫婦のワークスペースを設けた主寝室です。テレワークやパウダーコーナーなどの用途に加え、サービスバルコニーと隣接することで家事室としても活用できます。

【ダイニング・キッチン】(親世帯)
 同時に親世帯・子世帯が集まれる大きなテーブルが設置可能なダイニングです。家族の行事や週末の食事など三世帯がワイワイと楽しめるスペースです。

2F PLAN

【子ども部屋】(子世帯)
 子どもの行動が把握しやすく、リビングにすぐに出てきたくなるように配慮した配置です。



【リビング・ダイニング】(子世帯)
 眺望が良く、明るい3階に配置。家族を見渡せるワンルーム空間となっています。大きなバルコニーを設け日々の喧騒を忘れるヒーリングスペースとしても活用できます。

3F PLAN

建築面積 105.11 m² / 1階床面積 98.54 m² / 2階床面積 90.03 m² / 3階床面積 65.81 m² / 延床面積 254.38 m²
 ※ビルトインカーポート、3階インナーバルコニーの面積を含みます。※蔵面積は含みません